

ユニムイ発表会・体育館落成記念



発行者
NPO 法人いけま福
社支援センター
電話：75-2870

今月9日(日)、池間幼小中学校の子ども達の1年間の学習の成果を発表するユニムイ発表会が、新築されたばかりの体育館にて開催されました。今年のユニムイ発表会では、昨年末に池間小学生が見事「全琉音楽祭」への出演を果たしたことから、昨年11月に完成した新体育館の落成記念を島民みなでお祝いするとい



う趣向で行われ、例年になく大勢の島民が参加しました。幼稚園生と1・2年生、3・4年生による踊りや、5・6年生による英語劇、中学生による修学旅行の学習報告、さらに小学1年生から6年生全員が「全琉音楽祭」で披露した合唱の演奏など、児童生徒一人ひとりが練習の成果を一生懸命発表しました。

また、今年のユニムイ発表会は、新体育館の落成記念式も兼ねられており、来場者にはお祝いのかかるかんが振る舞われました。勝連常治校長は、「新しい体育館を地域の行事等にも活用していただき、お役にたてれば」とあいさつし、地域に開かれた学校づくりを約束しました。

現在、市教育委員会では学校の規模適正化が進められようとしています。池間島でこの先も学校を存続させるためには、幼小中学校

と地域とが連携し、地域の資源や知恵を活用しながら特色ある学校づくりを進めていくことがますます必要不可欠となってきます。

映画「みんなの海だから」

今月7日と8日、池間漁協の主催で映画「みんなの海だから」の上映会が行われました。この映画では、池間小中学校の子ども達がこれまで継続して取り組んできた海浜ゴミの調査・清掃活動が中心に描かれ、池間島から海ゴミの問題を世界に問いかけるドキュメンタリーになっています。

映画を制作した佐竹敦子監督は「池間島の人々が生きてきた歴史や、暮らし方、子ども達の取り組みを取材している中で、限られた資源を分かち合い大切に使う、という何事にも“感謝”する心が、海のゴミ問題をはじめとする環境問題の解決にもつながっていくと感じた。映画の上映を通じて、池間島からこの問題解決に向けてのメッセージを日本と世界へ強く発信していきたい」と語っています。近日中に池間公民館にて再上映会を予定しています。





小野高校民泊 3000本のアカバナ植花

島おこしの一環で3年前から実施している「つむばな*すまばな*うぐな-りば(心の花・島の花・集まれ)」のイベントが5日、グラウンドゴルフ場周辺で行われました。イベントには、修学旅行で来島した兵庫県立小野高校2年生310名と、受入れ民家の総勢約400名が参加し、池間島の一周道路沿いの花壇にブッソウゲ(アカバナ)約3000本を植え付けました。また、次年度の植え付け用として約3000本のブッソウゲの苗作りも行いました。

開会式では、生徒を代表して西角洋人君が「4月には30回目を迎える宮古島トライアスロンが開催される。私たちが植えた花が選手たちを励まし、力となるよう心を込めて植えたい」とあいさつしました。今回のイベントは、修学旅行民泊でお世話になった地域に貢献したいという小野高校生徒と、池間島で進行中の島おこし活動が一体となった取り組みで、作業に使用する数多くのクワやスコップなども、小野高校から寄贈されました。

作業の後は、五枚鍋で炊いたワラの味噌煮と豚汁の炊き出しがふるまわれ、高校生によるエイサーの披露や、受入れ民家と一緒にクイチャーを踊るなどして交流を深めました。活動の最後には、小野高校から小野市の伝統産業であるそろばんで作られた記念プレートが贈られ、池間島と小野高校の心の輪がおおきくひとつに繋がりました。

イーヌブーの除草作業終了

今月初旬、イーヌブーの除草作業が環境省の予算で実施されました。この事業は、増え続ける水草を除去して開けた水面を確保することで、水鳥たちがすみやすい環境にすると同時に、近年急速に進みつつある陸地化の進行を抑える目的で実施されています。今回は予算の中で野鳥観察台の周辺を中心にヒメガマやイグサなどの水草が除去されましたが、この後も水面を維持し、イーヌブーの再生計画を進めていくためには、島民の継続的なかわりが必要で

池間大橋開通記念 グラウンドゴルフ大会

今月14日は池間大橋開通22周年記念日です。“夢の大橋”開通から22年が経ったいま、いまいちど盛大にお祝いをしながらみんなで池間島を元気にしていきましょう！ぜひご参加ください。

日時：2月16日(日)午後2時～5時
 場所：グラウンドゴルフ場
 内容：グラウンドゴルフ大会(豪華賞品あり)
 カツオ汁の炊き出しもあります！
 主催：いけま島おこしの会